

健康生活インフォマガジン
池田病院だより

あいことば

Vol. 95

2018.OCT

♡ ささえあい

かさねあい♡



ごあいさつ (大納 副院長)

乳がん検診案内／リハビリテーション教育手帳

平成30年度
救急医療功労者県知事表彰受賞

【健康だより】
災害時の備え 今から始めよう!

ナーシングホームひだまり

入退院支援Webセミナー／
医療安全管理研修について

血液浄化センター通信

第8回日本医師事務作業補助研究会発表／
第42回 総理大臣杯
全日本大学サッカートーナメント結果報告

10月 外来診療表

医療の安全への取り組み

副院長 大納伸人

我が国の医療安全への取り組みは、1999年におこった横浜の病院での患者取り違え事件から始まりました。マスメディアの医療事故・ミス報道が一気に加熱したこともあり、大阪にあるNPO法人“COMI”への電話相談は、医療不信一色になったようです(「賢い患者」山口育子著 岩波新書)。当時の病院では、いわゆる医療訴訟に対する対策(リスクマネジメント)が中心でした。

その後、「医療崩壊」や「医師不足」など医療業界の直面している課題が報道されるようになり、さらに2015年10月からは医療事故の再発防止により医療の安全を確保するための「医療事故調査制度」が開始されました。その間には、医療安全に対する考え方も、個人的な問題とする「ヒューマンエラー」から、ヒトは間違いをおこすもの(To err is Human)としての「システムエラー」として捉える方向へと変化しています。しかし、医療の安全に対する取り組みは、自動車生産などの工業産業と比べると、医療そのものが「不完全・不確実」なもので限界があること、医療を受ける患者一人ひとりに違いがあること、などが困難さを大きくする要因と考えられています。

一方で、EBM(科学的根拠に基づく医療)をもとに、標準的な診断法や治療についても整備されるようになりました。医療そのものが経験的なものから、より科学的な考え方を取り入れられるようになり、医療の質が確保されるようになりました。最近では、一部の疾患に遺伝子情報をもとにした治療(precision medicine)も導入されるようになってきました。

いま私たちは、危険管理活動(リスクマネジメント)、医療安全活動(セーフティマネジメント)、質的改善活動(クオリティマネジメント)の三つの活動を結び付けて、全体的な質の向上を目指しています。そのために病院内では、医療行為でのいわゆるニアミスや間違いをレポート(インシデント・アクシデントレポート)として集計し、重大な問題については徹底して原因を解析する(RCA解析)ことや、あらかじめ予測される問題について対策を考えておくこと(FMEA解析)に取り組んでいます。当院でのレポート数はすでに2,000件を超えており、一部ではRCA解析を行いました。最近危惧されている災害時などに備えてのFMEA解析も行い、総合的な質のマネジメントを継続しているところです。



2018年
10月21日は…

日曜日に

乳がん検査を
受けられる日です。

当施設は認定NPO法人J.POSHが(日本乳がんピン
クリボン運動)が推進するジャパン・マンモグラ
フィーサウンダー(JMSプログラム)賛同医療機関です。

J.POSH

http://www.j-posh.com/
J.M.Sサイト http://jms-pinkribbon.com/



医療法人青仁会 池田病院

- 事前予約が必要です。
 - 受付時間：9：00～16：00
 - 検査内容：視触診 + マンモグラフィ
* オプション（超音波検査）追加可能
 - 検査費用：年齢や自治体により異なります。詳しくは予約の際にお尋ね下さい。
* オプションは、プラス 2,000 円 (税別)
- ※予約制になっておりますので、必ず事前に予約をお願いします。

当施設での検査について
のお問い合わせは…

お問合せTEL

0994 - 43 - 3434

リハビリテーション教育手帳

当院の患者層は、80歳以上の重複障害(=いくつかの病気を併せ持っている)を有する方が多く、一度退院されてからも短いスパンで急性増悪・再発等での再入院はもとより、他の疾患(骨折など)で再入院となるケースも多くみられます。

このような多様で予期せぬ再入院を減らすことを目的に、ひとつの疾患だけでなくさまざまな疾患の発症予防を行えるよう、当院の疾患別リハビリテーション(運動器・脳血管・心臓・呼吸器・がん・腎臓・摂食嚥下)ごとにリハビリテーションをする上でよく見かける疾患について、病態の説明や運動療法の方法、および日常生活で気をつけるポイントなどをできるだけシンプルにまとめました。全部で60ページ程度の内容です。

このパンフレットは、リハビリテーション介入をしている全患者さんに無料配布するコンセプトであり、患者さんだけでなくご家族や施設職員にも関心を持っていただくことで、広く再発予防の意識をもっていただくことを目標としています。

リハビリテーションセンター 森田 伸一



平成30年度 救急医療功労者県知事表彰受賞

このたび、平成30年度救急医療功労者県知事表彰受賞の知らせをいただきました。この賞は私が個人で頂いたというよりも、小倉会長はじめ鹿屋市医師会の先生方のおかげであり、代表して受賞させていただいたものと、深く感謝申し上げます。

私は昭和53年6月に、当時30歳で鹿屋市医師会に入会しました。そのころの救急体制は、内科・外科・産婦人科の開業医がそれぞれ輪番制で夜間当番をしており、当然内科は小児科も診ていましたが、月に2～3回は担当していたと記憶しております。そのような中で転機がおとずれたのは、中尾正一郎先生が県立鹿屋病院の副院長に就任してからのことです。当時、私達が県病院への転院を希望しても、ほとんど満床ということで断られることが続いているなど、県立鹿屋病院と市内の開業医とは必ずしも上手くいってはいませんでした。中尾先生は私と甲南高校の同級生でしたので、就任の挨拶の機会に実情を話しますと、しばらくして中尾先生から連絡があり、「君の言うとおりで、改革するから」との返事をいただき、それまで診ていた慢性疾患を外の開業医に出し、入院患者を整理し、いつでも受け入れ可能な状態にしてくれました。それからしばらくののち、再び中尾先生が相談に来ました。その当時の県立病院の小児科は、「『かかりつけ医だから』という理由で、毎日夜まで外来患者を診ていて疲弊している」とのことでした。私は、中尾先生に「開業医が輪番制をしているのだから夜間の小児の患者は開業医に振ってもらい、そのかわり開業医は内科医がほとんどだから内科医が診られない小児患者は県病院の小児科が診るという体制を作ってはどうか」と提案しました。ここからいわゆる「時間外救急対応の鹿屋方式」がスタートしたのです。ところが中尾先生がNHKのクローズアップ現代に出演し、読売新聞に記事が掲載されたことにより「鹿屋方式」は一躍全国区になりました。大隅半島には小児科で入院設備を持っているのは県立病院しかありませんでしたの

●夜間急病センターは初期救急医療機関です

初期救急医療機関とは、突発的な発熱や腹痛など、外来診療により急病患者の医療を担当する医療機関です。入院を必要とするような場合には、二次救急医療機関での診療となります。

◎用語解説

※二次救急医療機関/入院治療を必要とする重症の急病患者のための医療機関です。



★コンビニ受診や安易な救急車の利用はお控えください

コンビニ受診とは一部的に外来診療をしていない休日や夜間の時間帯に、比較的軽症の患者さんや疑問に受診できる方が救急外来を受診すること

当院ホームページより引用

で、今度は夜間当番の内科に小児科の時間外患者対応が集中するようになり、開業医がピンチになりました。当時鹿屋市医師会の会長だった私は、鹿屋市の山下栄市長に夜間急病センターの設置をお願いに行きました。市の対応は「先生、それは鹿屋市ではできない」という簡単なものでした。私はすぐに市長に言いました。「市長、時間外医療は医師会の仕事ではないのです。行政の責任なのです。もし市が動かないと言うのであれば、私達は夜間輪番制を中止して、患者さんが来たら市役所に行くようにと言いますよ」と言い、更に市民に署名活動を行いました。そしてその結果、大隅広域夜間急病センターがスタートしたのです。もちろんスタートの時点でも、それ以降もいろいろ問題を抱え、医師の確保の問題を含めて、いつ崩壊するかもしれないという状態は当分続くだろうと思います。ただ、はっきりしているのは、この夜間急病センターが無くなった時点で大隅半島の時間外医療は崩壊するという事です。このことは医師会だけではなく大隅半島の市民、行政の皆さんにも充分理解していただき、いつまでも継続する急病センターを見守る必要があると思います。

私が今回表彰を受けるのは夜間急病センターの関わりが大きいのだと思いますが、これは私一人の力ではなく、医師会は元より行政や市民の皆様方の御協力の賜物だと思います。

感謝の気持ちを胸に、今後も私なりの微力を尽くしてまいる所存です。本当にありがとうございました。

夜間急病センターの診療時間は、
午後7時から翌日の午前7時

受付時間：午後6時30分～翌日の午前6時30分

応急的な処置に限られ、薬の処方も1日分となります。

事前の電話相談を

● 受診すべきか悩んだ時は

大隅広域夜間急病センターでは、急病に関する電話相談も行い、看護師などが応急処置や受診の必要性などの助言をします。受診するかどうか迷う時には、電話相談をご利用ください。

① 大隅広域夜間急病センター電話相談

☎0994 (45) 4119

② 鹿児島県小児救急電話相談

☎#8000 (携帯電話からも利用可能)

- ・対象者：おおむね15歳未満の子ども
- ・受付時間：午後7時～午後11時

③ こどもの救急ホームページ

<http://www.kodomo-qq.jp>

※病院に行くべきかのおおよその目安がわかります。
対象は生後1ヶ月から6歳くらいのお子さんです。



※県道ホームページより引用



(前列右端が 池田理事長)



災害時の備え 今から始めよう!

今年もいろいろな災害をニュースで見たり聞いたりする機会が多かったように感じます。

水・電気・ガス・物流がストップした生活を想像して下さい。

夏・・・暑さをうちわだけで耐えられるでしょうか？

冬・・・寒さをどうやってしのげばいいのでしょうか？



具体的に想像することこそが防災の第一歩です。

ふだんから考えているからこそ、災害時にも実践できるのです。

まずは冷蔵庫を開けてみましょう

常備している食品を確認しましょう

ガス台の前に立ってみましょう

流しの前に立ってみましょう



さあ、どうやってあなたは自分と大切な人を守っていきますか？

ふだん私たちは、どんなことを考えて、何を準備しておけばいいのでしょうか。

【家財が飛んでくる】

- ・家具の転倒防止グッズで固定しておく。
- ・ガラスには飛散防止フィルムを貼っておく。
- ・ガラス片が飛び散った場合、掃除にはほうきやチリトリ、ガムテープが便利

【電気が止まった】

- ・懐中電灯やランタンを用意しておく。
- ・携帯ラジオや予備の電池を用意しておく。

【物流ストップ】

- ・食料と生活用品の常備をしておく。

【水が出ない】

- ・飲料水や生活用水の常備をしておく。
- ・トイレの水は流せない。簡易トイレを用意しておく。
- ・お風呂には入れないので、女性はナブキンやライナーがあると良い。

【ガスが止まった】

- ・カセットコンロと予備のボンベを用意しておく。
- ・アウトドア用のコンロも有効

【いつものんでいる薬の確保が難しい】

- ・非常持ち出しバッグの中に3日分くらい入れておき、処方される度に新しいものと入れ替える。
- ・お薬手帳などを持ち、自分が服用している薬が分かるようにする。

★わざわざ高価な非常食をそろえなくても、ふだん使っているものを利用すれば無理なく準備できます。

おすすめ

ローリングストック法

ふだん食べている食品を少し多めに確保して、賞味期限の近いものから消費し、同時に新しいものを補充していく方法です。

常温保存できる野菜 (ジャガイモ・玉ねぎ・人参)

常温保存できる野菜は貴重です。常にきらさないようにしましょう。

乾燥野菜は保存食になる (大根・人参・ゴボウ・ねぎ など)

野菜を切って天日に干すだけで保存食が作れます。

家庭菜園も役に立つ

庭やプランターで野菜を育てていれば、いざという時の心強い栄養源になります。

避難生活を少しでも元気に過ごすために

自宅で避難生活を送ることができれば少しでも安心なのですが、もし避難所で大勢の方と共同生活を送らなければならなくなったら・・・

避難所では同じ空間に多くの人が集まって生活しているため、食中毒などへの注意が必要です。また、風邪やインフルエンザなどの感染も広がりやすくなっています。感染予防には手洗いが基本。少しでもできることから心がけましょう。

病気の感染を予防するには

①手洗い

- ・流水が使えるときは、こまめに流水と石けんで手を洗いましょう。
- ・断水しているときは、手指用アルコール剤（特にトイレ後、食前）を使いましょう。

②うがい

- ・流水またはペットボトルや給水車の水が使えるときはこまめにうがいをしましょう。

③マスクの着用

- ・マスクが足りない場合は、風邪の症状が出ている人にマスクをしてもらうことを優先しましょう。

備えあれば
憂いなし



あなたの元気がみんなの元気！！

ついつい、お子さんやお孫さんに配慮して、食事を遠慮してしまうかもしれません。でも、あなたが元気であることが、ご家族やまわりの方の元気につながります。

1.水分をしっかりとりましょう

水分が不足すると、疲れやすい、頭痛、便秘、食欲の低下、体温の低下などが起きやすくなります。血流を良くする、血圧や血糖をコントロールするためには、水分をしっかりとることが大切です。

2.しっかり食べましょう

食べ物が限られていることや慣れない環境などのために食欲が低下しがちです。体温や身体の筋肉を維持するためにも、食事はしっかり食べましょう。

3.身体を動かしましょう

避難所生活では、身体を動かす量が減りがちです。身体を動かすことは身体にも心にもいいことです。

こんにちは！保健師です。
災害はいつやってくるかわかりません。
自分が被災しても大丈夫なように、最低限の備えと日頃からの体力づくりをオススメします。

ケアサポートセンター：徳田、小坂



介護老人保健施設 ナーシングホームひだまり

平成30年度 第1回 入所家族会

平成30年度 第1回のひだまり入所家族会を、9月9日 9:30より開催致しました。



今回は言語聴覚士による、「口から食べるための取り組み」として、事例を交えながら報告をさせていただきました。口から食べることへの喜びを感じていただけたのではないかと思います。



その後、介護教室として、福祉用具等でお世話になっている三井メディックス様より、オムツの種類や使用方法について、実演や実技を交えながら講義をしていただきました。

実際に手に取ってもらい、吸収力の比較実験なども行い、素材や機能の違いなどを、体感していただき、オムツの装着方法も実技を交えて、わかりやすく説明していただきました。



当日はあいにくの雨でしたが、多くのご家族への参加をいただき、和やかな雰囲気の中で開催できました。ご参加していただきました皆様、ありがとうございました。

家族会は年2回開催しておりますが、今後も皆様への有意義な機会となるように、努めたいと思います。

入所相談 介護支援専門員 中村 政和

ひだまり通所リハビリ曜日別平均利用人数

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
50名	49名	48名	47名	46名	50名

※どの曜日も受け入れ可能です。新規にご利用を希望される方は下記連絡先まで直接ご連絡いただきますようお願い致します。

※お問い合わせ先 通所リハビリ 繁昌(支援相談員)

●介護老人保健施設とは、介護が必要な方の家庭復帰・在宅支援をめざし、生活サービスを行います。

利用対象者:介護保険の被保険者が対象となります。要支援1・2 / 要介護1～5の方(入所サービスは要支援を除きます)。

手続き方法は、当施設か担当ケアマネージャーにご連絡ください。見学をご希望の方はいつでも2階の受付またはお電話にてお申し付け下さい。

ひだまり訪問リハビリ

住み慣れた在宅での生活が安心・安全にその人らしく継続できるように支援して参ります。こんなことが楽にできるようになりたい、こんな生活がしたいなどの希望があれば下記連絡先までご連絡ください。

*お問い合わせ先 訪問リハビリ 林(作業療法士)



ホームページアドレス★<http://ikedahp.com>

★ホームページからのお見舞メールもぜひご利用下さい。

介護老人保健施設
ナーシングホーム ひだまり
ショートステイ / 通所リハビリ / 訪問リハビリ
代表(0994)41-1200 / 通所(0994)41-1725

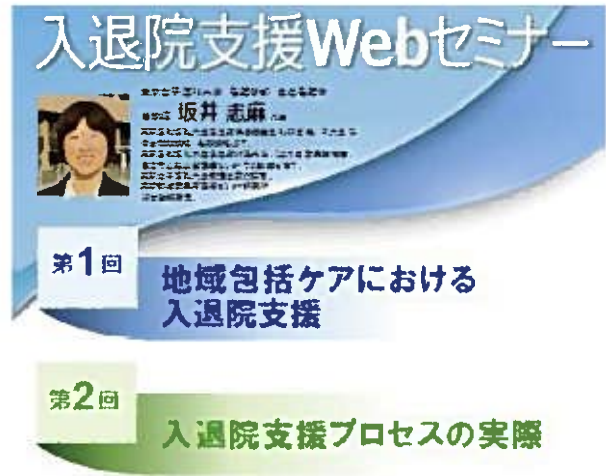
入退院支援Webセミナー

第1回地域包括ケアにおける入退院支援

8/31、地域包括ケア推進の社会的背景、院内外が多職種と連携し入退院支援をすすめていくアプローチについて、さらに在宅療養に関わる施策や制度についての講義。

第2回入退院支援プロセスの実際

9/19、支援の必要な患者の早期介入、意思決定支援、社会資源の活用、多職種連携による療養指導と実践要素について。外来・病棟・地域間の連携促進に向けたシステムや外来を中心とした在宅療養移行支援について学びました。



医療安全管理研修について

医療安全管理研修は、年2回以上の開催を求められている、全職員参加の必須課題です。当院では、昨年度に導入した、学研メディカルサポートのe-ラーニングシステムを活用して医療安全研修を実施しています。

平成30年度の設定課題:

- ①医療安全文化の醸成ってなに？
- ②KYT (危険予知トレーニングの本当の意義とは)
- ③KYTを実践してみよう (動画編)
- ④転倒・転落を減らすための工夫 ~事例を交えて~

を計画しています。

医療安全文化の醸成については昨年度も行いましたが、繰り返し行うことが大事であると言われていたので項目にあげました。

「安全文化の醸成」とは、医療現場のスタッフ全員の行動・思考様式や価値観において「患者安全」がもっとも重要であると認識できるようになることが目的です。

安全とは何か、事故発生のメカニズムや安全活動の進め方、リスク管理について継続的に学び実践していくなかで、安全文化や安全な職場風土の向上に繋がることを目指しています。

医療安全管理室 知識 修一



血液浄化センターより、透析治療に関する様々な情報をお届け致します。

始めよう！

毎日コツコツ！

～腰痛体操～

今回は腰痛体操をご紹介します。家でテレビを見ている時、寝る前にベッド上で気軽に出来ますので、無理しない程度に是非！お試し下さい。



①あごを引いたまま上半身を
ゆっくり起こしたまま5秒間止める



②両膝を抱かえたまま
膝を胸に近づけて5秒間止める



③片膝を軽く抱え込み膝を胸に
近づけ5秒間止める



④うつ伏せに寝てお腹に枕等を挟み
あごを引いたままゆっくり上半身を
起こし5秒間止める

第8回日本医師事務作業補助研究会

9月15日、広島市にて第8回日本医師事務作業補助研究会が開催され、富士川医師、永射主任、診療支援室(富倉、長瀬、徳留)の5名で参加しました。

当院からは、富倉職員が「他職種連携における救急クラークの役割と成果」、徳留が「放射線における診療予約への取り組み」を口演発表し、富倉職員が「座長賞」をいただくことができました。全国大会に参加して他の医療機関の医師事務作業補助者としての取り組みや問題点など多くを学び、とても貴重な経験を得ることができました。医師事務作業補助者として「医療の質の向上」と「患者サービス」へ繋がる多方面へ向けたコーディネートが行えるよう成長していきたいと思えます。

診療支援室 徳留 なな子



第42回 総理大臣杯

全日本大学サッカートーナメント結果報告

2年ぶり14回目の出場となる総理大臣杯(全日本大学サッカートーナメント)へ九州第3代表として出場しました。初戦は阪南大学、2回戦は早稲田大学と関西・関東の強豪相手との試合が続きましたが、延長後半逆転勝ちで5年ぶりにベスト8へ進出しましたが、準々決勝では大阪学院大学と対決し、PK戦の末に惜しくも敗れました。(ベスト8は過去5位タイの成績)

現在行われている九州大学サッカー後期リーグで上位に入り、冬のインカレに出場してさらなる成績を取められるように頑張っていきますので、今後ともご声援よろしくお願ひします!!

鹿屋体育大学サッカー部トレーナー リハビリセンター 北岡 海

【試合結果】

8/31	1回戦	鹿屋体育大学	3-0	阪南大学(関西4)
9/3	2回戦	鹿屋体育大学	4-3	早稲田大学(関東5)
9/5	準々決勝	鹿屋体育大学	1-1 (PK 4-5)	大阪学院大学(関西1)

※詳細は鹿屋体育大学サッカー部Facebook、Twitterをご覧ください



池田病院 外来診療表 10月

診療科目	月	火	水	木	金	土
総合内科	山内 拓真 吉留 悦男	原口 朋晋 吉留 悦男	白濱 浩司 池田 徹	田中 誠 池田 徹	白濱 浩司 吉留 悦男	白濱 浩司
腎臓内科	村岡 良朗 潤田 心 春田 隆秀 (8日・22日)	村岡 良朗 古城 卓真 潤田 心	古城 卓真 潤田 心	村岡 良朗 古城 卓真 潤田 心	村岡 良朗 古城 卓真 春田 隆秀	古城 卓真 潤田 心 春田 隆秀
透析内科						野崎 剛 (27日のみ)
腎炎専門外来			村岡 良朗			
血液内科	大納 伸人 中嶋 秀人詞	大納 伸人	大納 伸人 中嶋 秀人詞	大納 伸人		中嶋 秀人詞
脳神経内科	田邊 肇			岩田 真一		池田 賢一 (6日・20日)
消化器内科 (肝臓内科)	井戸 肇雄 (29日のみ) 堀之内 史郎	有馬 卓志 堀之内 史郎 今中 大	平峯 靖也 堀之内 史郎 熊谷 公太郎	今中 大 堀之内 史郎	堀之内 史郎 佐々木 文郷	柴藤 俊彦 (13日・27日) 今中 大 (6日のみ) 森内昭博(20日)
呼吸器内科	寒川 卓哉	上野 史朗	寒川 卓哉	舩 博晃	上野 史朗	寒川 卓哉
呼吸器外科				前田 光喜 (4日・18日)		
糖尿病内科		菊池 晃	上久保 定一部 (17日のみ)		西牟田 浩	
循環器内科	東福 勝徳	池田 大輔	東福 勝徳 神園 悠介	池田 大輔	東福 勝徳 池田 大輔	池田 大輔
脳神経外科		富士川 浩祥	富士川 浩祥			
脳・血管内科						
脊椎・脊髄外科					山畑 仁志 (19日のみ)	森 正如 (13日のみ)
リハビリテーション科	鶴川 俊洋	鶴川 俊洋	鶴川 俊洋	鶴川 俊洋		川津 学 (6日のみ)
整形外科	福島 好一		瀬戸口 啓夫 (10日・24日)	福島 好一 川井田 秀文	福島 好一 瀬戸口 啓夫 八尋 雄平 (5日のみ)	担当 医
放射線科(画像診断)	宮川 勝也	宮川 勝也		宮川 勝也	宮川 勝也	宮川 勝也
乳腺外科	船迫 和	船迫 和	船迫 和	船迫 和	船迫 和	船迫 和
歯科	奥家 信宏 淵田 亜沙子	奥家 信宏 淵田 亜沙子	奥家 信宏 淵田 亜沙子		奥家 信宏 淵田 亜沙子	奥家 信宏
血液内科			中嶋 秀人詞			
循環器内科	東福 勝徳					
呼吸器外科		横枕 直哉 (9日・23日)				
リハビリテーション科	鶴川 俊洋	鶴川 俊洋	鶴川 俊洋	鶴川 俊洋		川津 学 (6日のみ)
整形外科	前田 和彦	前田 和彦	前田 和彦 (3日・17日・31日) 瀬戸口 啓夫(10日・24日)			
放射線科(画像診断)	宮川 勝也	宮川 勝也		宮川 勝也	宮川 勝也	
乳腺外科	船迫 和	船迫 和	船迫 和	船迫 和	船迫 和	船迫 和
歯科	奥家 信宏 淵田 亜沙子	奥家 信宏 淵田 亜沙子	奥家 信宏 淵田 亜沙子		奥家 信宏 淵田 亜沙子	奥家 信宏
救急科	田中 誠	田中 誠	田中 誠	富士川 浩祥	田中 誠	

【受付時間】 午前…8:30~11:00 午後…休診(午後診療は予約以外は休診となります)

※急患の場合この限りではありません。

※総合内科以外は必ずご予約の上、ご来院ください。

※かかりつけ医のある方は、必ず紹介状をご持参ください。(紹介状をご持参の場合もご予約が必要となります。)

予約・変更・お問い合わせ

外来診療予約・変更

TEL:0994-45-5278
FAX:0994-45-5259

放射線科

TEL:0994-45-5163
FAX:0994-45-5271

健康診断・人間ドック

TEL:0994-40-8782
乳がん検診も承ります。

歯科

TEL:0994-43-6468

池田病院 医療法人青仁会 池田病院

〒893-0024 鹿児島県鹿屋市下蔵川町1830番地 <http://www.ikedahp.com/>

[0994]-43-3434

[0994]-40-1117